

2006 年度 小委員会活動成果報告

(2007 年 2 月 20 日作成)

小委員会名	地震火災小委員会		主 査 名：室崎益輝 就任年月：2005 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	防火委員会		委員長名：室崎益輝 主 査 名：上原茂男
設 置 期 間	2005 年 4 月 ~ 2008 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2005 年度 過去の地震火災の性状や特性の考察 ・ 2006 年度 首都直下など今後予想される地震火災の特性の考察 ・ 2007 年度 地震火災の性状予測と対策検討 		
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：なし		
	委員長：室崎益輝(総務省消防庁), 幹事：糸井川栄一(筑波大), 幹事：関沢愛(東京大), 江田敏男(建築データネット), 加藤孝明(東京大), 佐藤博臣(ERS), 鈴木唯一朗(東京消防庁), 関根孝, 塚越功, 西田幸雄(東京理科大), 林弘昭(大成建設), 村岡寛(大林組), 村田明子(清水建設), 吉川仁(防災アンド防災都市づくり計画室)		
設置 WG (WG 名:目的)	なし		
2006 年度予算	147,000 円	ホームページ公開の有無：なし 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回(内, 1 回は非公式会合)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	なし
講習会	なし
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	1. 第 1 回連続公開小委員会 参加者数 22 名 ・ 「都市防火総プロから防災まちづくり総プロへ」: 糸井川栄一 ・ 昭和 53 年度に本火災学会賞受賞者講演要旨: 関根孝 2. 第 2 回連続公開小委員会 参加者数 12 名 ・ 「まちづくりにおける防災評価・対策技術の開発」: 竹谷修一 ・ 建築雑誌 S47.12 「日本における災害と防災思想」: 関根孝
大会研究集会	なし
対外的意見表明・パブリックコメント等	なし
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 昨年度の課題をふまえ, 小委員会を公開し, 広く関心を持つ者に参加を呼びかけたことにより, 委員会活動が活性化した. 2. 年度計画にある首都直下地震の火災性状と対策の検討を最終目的に, 現在までの研究の知見の整理を行い, 現在の研究上の課題, 論点を明確にすることができそうな段階に入った. 3. 初年度の遅れを取り戻せた. 当初計画の達成まであと一歩のところである.
委員会活動の問題点・課題	1. 現在の活動を継続させるため, これまでの公開小委員会に参加する若手研究者を小委員会メンバーに正式に入れた方がよい. 2. 来年度中の地震火災対策について提言するためには, 連続公開小委員会開催の頻度を高め, 議論を深める必要がある.

* 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。